

## 2024年度 学校評価報告書（自己評価・学校関係者評価）

報告者 校長 石橋 恵二

### I 自己評価

#### 1. 本校の教育目標

「理想（VISION） 世のために役立ち、人々に必要とされる社会人となる」を校訓に掲げ、中学校までの義務教育の課程で養われた基礎の上に、社会自立のために、職業技術や専門知識、人間としての基礎的な教養や生活力を身につけさせ、実社会や上級校に送り出すことを目標としている。

#### 2. 本年度の重点目標

- 1) 多様性、個性尊重の精神を培う
- 2) 社会自立に向けた実学と職業教育の指導を強化する
- 3) 自己開示と表現力の強化
- 4) 進路指導（職業観の育成と社会適応力の強化）

#### 3. 重点目標についての評価（A～D）と取り組み状況や課題

A・・・達成できた B・・・概ね達成できた C・・・達成が不十分 D・・・達成できていない

##### 1) 多様性、個性尊重の精神を培う（B）

- ・ 本校には障がいのある生徒や特別な事情があって入学をしてきている生徒が多いが、その特性や事情を皆が理解して学校生活を過ごすことが不可欠である。  
理解を深めるうえで、個々を敬う心や人権ということを常に意識させる必要があり、全校朝礼やホームルームでの話はもちろん、部活動や各行事などの関わりにおいて、実体験からそれらを学ばせるようにした。
- ・ 学年が上がるにしたがってその関わりは当たり前で自然なものになっている。やはり1年生は、まだ経験と指導が途上段階で、課題もある。

##### 2) 社会自立に向けた実学と職業教育の指導を強化する（B）

- ・ 普通教科の授業内容は社会生活に直結するものを進んで提示し、考えさせた。
- ・ 作業のベースとなるトレーニングを日々行い、各学年の校内実習に向かわせた。
- ・ 本年度は障害のない生徒は校内実習をインターンシップとして位置づけ、障害のある生徒とともに作業に入ったが、とても真面目に取り組んでいた。
- ・ 「あいさつ、返事」と「報連相」は本校の基準からすると、まだ充分とは言えない。

### 3) 自己開示と表現力の強化(A)

- ・スピーチコンテストの予選は月1回のペースで実施。決勝に進んだ生徒たちは自分の経験から考え改めたことや思いを強くしたことをしっかり主張することができていた。
- ・また、日ごろの授業において意見発表したり、文章に表したりする機会をできるだけ多く設け、生徒たちの自信につなげた。
- ・スポーツ大会、学園祭(紫峰祭)、合唱コンクールを通して、生徒が積極的に取り組み、大きな成長につながった。

### 4) 進路指導(職業観の育成と社会適応力の強化)(B)

- ・1年次から積み重ねてきた取り組みの成果により、3学年72名(就職61名、専門学校進学7名、大学進学4名)が進路先を決定した。
- ・企業の採用意欲は高まっている一方で、生徒の特性や本人の働く意欲をじっくりと見て、厳しく選別をしているように思われる。
- ・進路決定までに時間を要した事例も複数あった。

## 4. 総合的な評価と今後の課題

- ・生徒それぞれが個人の理解を深めようとする姿はよく見ることができ、心の成長を実感することも多い。しかし、その関わりのなかで心無い言動で一方が傷つき、もう一方が自分の行為に気づかないことも時折あり、指導をした。
- ・自分を変えようとする努力をしているが、自己肯定感をもてずいたり、自分にコミュニケーション力が足りないことを悩んでいたりする生徒も見受けられる。この部分は教師・保護者による指導や励ましによるものも大きいので、今後の課題とする。
- ・3年間皆勤および1年間の皆勤・精勤になる生徒の割合が減っている。職業人になるために必要な点であると思うが、健康に対する社会一般の意識の変化でもあるかもしれない。

## Ⅱ 学校関係者評価

### 1) 多様性、個性尊重の精神を培う

- ・生徒のタブレット利用が授業のほか友愛会活動、部活動などさまざまな場面でできているようだが、情報リテラシーや個人情報保護という点で充分にできているか、またそれを予防するための指導については一層強化してもらいたい。

### 2) 社会自立に向けた実学と職業教育の指導を強化する

- ・「闇バイト」が社会問題となったが、すぐに学校から注意喚起をしてくれて有り難かった。「オーバードーズ」に関しても昨今話題になっているが、学校薬剤師の方に「薬の

話」を講義してもらえたことも、意識を改めて確認することにつながり助かった。

- ・ 成年年齢としての自覚を促す指導として、金融教育で外部から講師を招いて特別授業を行ってくれたことはよかった。

### 3) 自己開示と表現力の強化

- ・ 予定していた学校行事を生徒たちが経験でき、学年ごとの成長がはっきりと確かめられてよかった。
- ・ 年度末の「生徒活動報告会」の様子は保護者に配信されて、それを見た。生徒たちが一年間で何を思い、何を学んだかをよく理解できた。スピーチコンテストの代表者の発表は素晴らしく、胸に迫るものであった。

### 4) 進路指導（職業観の育成と社会適応力の強化）

- ・ 就職模擬試験は就職に対する意識向上が図られていると思う。
- ・ 職場実習のフィードバックがもう少し学校から個々にあってほしいという声はある。
- ・ 企業就労も福祉的就労も内定の出る時期がそれぞれで大きく違うことがよくわかった。